

大分県教育庁埋蔵文化財センター年報 3

2017

大分県教育庁埋蔵文化財センター

例 言

- 1 本書は、平成27年度に大分県教育庁埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財に関する事業内容及び、石造文化財の分布調査や普及・啓発活動の概要の他、大分県内における埋蔵文化財保護行政の現状についてまとめた年報である。この他、第3章として平成28年度に資料の寄贈を受けた記録を記載している。
- 2 第4章には、収蔵資料の集成・研究報告を収蔵している。
- 3 出土物は大分県教育庁埋蔵文化財センター（大分市中判田）で保管している。
- 4 本書の執筆は、第4章を豊後大友府内町跡出土の唐枕を修理した大西智洋氏（大西漆芸修復スタジオ）の修理報告を掲載したほかは、綿貫が担当した。
- 5 本書の編集は、小名川玲子の補助を受け、綿貫俊一が行った。

目 次

例 言

第1章	平成27年度 大分県教育庁埋蔵文化財センターの事業実績	
	(1) 発掘調査の推進	1
	(2) 整理・記録報告の推進（報告書の刊行）	2
	(3) 公開の推進	3
第2章	平成27年度の大分県埋蔵文化財保護行政の現状	10
	(1) 発掘調査の動向	
	(2) 埋蔵文化財の普及・啓発および文化財指定	
第3章	収蔵資料修正・研究報告	
	(1) 朱漆鎗金楼閣騎馬人物文唐枕 修復報告 大西智洋	11

第1章 平成27年度 大分県教育庁埋蔵文化財センターの事業実績

(1) 発掘調査の推進

平成26年度より、機構改革の一環として、県関係の一般事業と大型事業とが県事業として集約された。県事業は5件で、国土交通省等の受託事業は3件であった。また、県関係の開発に伴う立会・試掘・確認調査が57件、県事業に関する分布調査が506ヶ所、県農林業関係分布調査が174ヶ所、大分県内石造分布・実測調査が21件であった。

A 本調査 (7遺跡)

第1表 県事業

	事業主	事業名	遺跡名等	所在地	調査期間(現場)	調査面積	調査担当	主な時代	主な遺構・遺物
1	竹田土木事務所	白丹竹田線	有添田遺跡	竹田市	平成27年6月10日 ～6月22日	31.8㎡	横澤 慈	中世	板碑、宝篋印塔、角柱塔婆
2	中津土木事務所	渋見成恒中津線	原口遺跡	中津市	平成27年6月2日 ～6月29日	336.3㎡	小林昭彦	中世・近世	溝 土器・陶磁器
3	別府土木事務所	成仏杵築線	山迫遺跡	杵築市	平成27年7月2日 ～8月26日	488㎡	小林昭彦	古代・中世	鍛冶炉跡
4	大分土木事務所	庄の原佐野線	旧万寿寺跡 10次	大分市	平成27年6月17日 ～平成28年2月24日	7,097.4㎡	吉田 寛 坂本嘉弘 宮内克己	中世	溝・廃棄坑
5	白杵土木事務所	祇園洲柳原線	白杵城下町跡	白杵市	平成27年12月8日 ～平成28年2月1日	264.6㎡	小林昭彦	中世	土坑・石組み

受託事業

	事業主	事業名	遺跡名等	所在地	調査期間(現場)	調査面積	調査担当	主な時代	主な遺構・遺物
1	国土交通省 佐伯河川国道事務所	大野竹田道路	石田横穴墓群	豊後大野市	平成27年11月10日 ～12月7日	400㎡	松本康弘	古墳・中世	横穴墓、やぐら状遺構、土器、石塔
2	国土交通省 大分河川国道事務所	三光本耶馬溪道路	古戸遺跡	中津市	平成28年1月5日 ～2月26日	2,300㎡	松本康弘	中世・近世	住居跡・土器
3	県土地開発 公社	玖珠工業団地 造成	四日市遺跡 14次	玖珠町	平成27年4月 ～平成28年3月	9,480㎡	松本康弘	弥生	住居跡・墓・土坑

B 分布・試掘・確認調査 (758件)

第2表 分布・試掘・確認調査

	区分	件数	期間	担当者	備考
1	県事業・県立学校等関係・国関係等 立会・試掘・確認調査	57件	平成27年4月～平成28年3月	松本康弘 吉田 寛 横澤 慈 小林昭彦	
2	一般県事業関係等分布調査	506ヶ所	平成27年3月3日～3月17日	綿貫俊一 松本康弘 横澤 慈 小林昭彦 坂本嘉弘 宮内克己	
3	農林業関係分布調査	174ヶ所	平成27年10月・12月、 平成28年1月	松本康弘 他	
4	大分県内古代・中世石造遺物分布調査	21件	平成27年4月～平成28年3月	小柳和宏 横澤 慈 他	実測調査

(2) 整理・記録報告の推進（報告書の刊行）

発掘調査にかかる遺物の整理作業を継続して行った。また、発掘調査報告書は6冊を刊行した。この他、印刷物として平成27年度の国庫補助事業にかかる概報1冊、年間の事業に関するまとめとして年報1冊を刊行した。年報は、大分県全域の埋蔵文化財保護行政をまとめた内容を掲載して、平成4年度より22冊を数えたが、平成26年度からは新たに『大分県教育庁埋蔵文化財センター年報』として埋蔵文化財センターの事業についての概要を掲載している。平成27年度は、近年の発掘調査成果を盛り込んだ一般向け概説書として『新しい大分の考古学 豊の国考古学ライブラリー ②、同③』を刊行した。

第3表 平成27年度中に刊行した印刷物

	報告書番号	遺跡名等	副題等	担当者	総頁数
1	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第86集	諫山遺跡	東九州自動車道（県境～宇佐間）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（3）	小柳和宏 松本康弘 坂本嘉弘	A4版 428頁
2	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第87集	佐知遺跡	東九州自動車道（県境～宇佐間）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（4）	横澤 慈	A4版 92頁
3	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第88集	森の木遺跡	東九州自動車道（佐伯～県境間）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（4）	綿貫俊一	A4版 500頁
4	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第89集	岩鼻岩陰遺跡	県道地蔵峠小田原建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	後藤一重	A4版 278頁
5	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第90集	府内城・城下町	新館受変電棟新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	小林昭彦	A4版 74頁
6	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第91集	大分県下の中世～近世石造物	大分の中世石造物第4集写真図版編	小柳和宏	A4版 200頁
7	大分県内遺跡発掘調査概報 19			松本康弘	A4版 22頁
8	大分県教育庁埋蔵文化財センター年報2			江田 豊	A4版 18頁
9	大分の石造物～中世編～ 考古学ライブラリー②	五輪塔 板碑 国東塔 宝篋印塔 他石塔類の調査報告とシンポジウムのまとめ		小柳和宏 横澤 慈	A5版 108頁
10	諫山遺跡と周辺の遺跡 ～東九州自動車道関連 発掘調査の記録～ 考古学ライブラリー③	諫山遺跡 佐知遺跡 嶋ノ町遺跡 池ノ下・能元遺跡 カシミ遺跡 春畑遺跡 西林大迫遺跡 今成館 木内遺跡 丸尾城 虚空蔵寺遺跡 他		後藤一重 小柳和宏 江田 豊 松本康弘 横澤 慈 坂本嘉弘 宮内克己 小林昭彦	A5版 104頁

(3) 公開の推進

収蔵資料については、埋蔵文化財センターでの常設展示のほか、年一回の企画展において広く一般に公開している。また小学校への出前授業、中学生の職業体験、歴史学習体験キットの活用などを通じて学校と連携を図り、併せて一般県民を対象とした考古学講座や発掘調査現場の現地説明会を開催した。

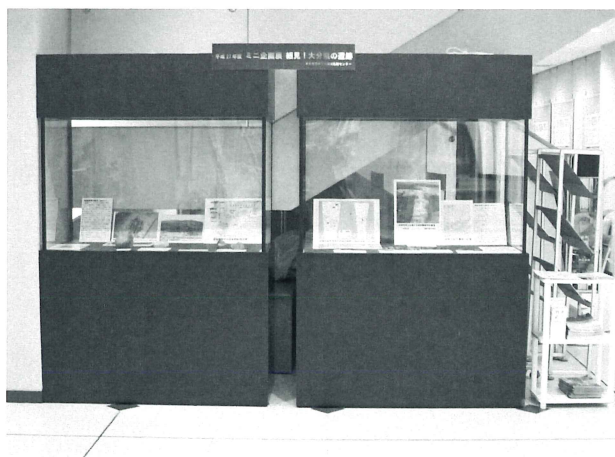
A 展示

企画展は、大分県立先哲資料館展示室において実施した。平成27年度は、「唐物・洋物・和物」と題し、県内の遺跡の調査で見つかった資料や伝世資料の中で特に重要と考えられる遺跡・遺物を選びすぐって展示した。また、関連イベントとして、会期中の7月25日に「唐物・南蛮物・洋物」という企画展関連講座を県立図書館視聴覚室で行った。さらに、期間中3回の職員による展示解説を行い、総入場者数は6,192人を数えた。

ミニ企画展は、県庁別館・大分県立図書館・大分大学図書館において「細見！大分の遺跡」を実施した。内容は、旧石器時代：茶屋久保遺跡・縄文時代：岩鼻岩陰遺跡・弥生時代：諫山遺跡などで出土した遺物を中心とした巡回展示である。

第4表 平成27年度開催の展示一覧

名 称	開 催 期 間	内 容	開 催 場 所	入 場 者 数
特集展1「平成27年度調査速報展」	平成27年5月11日 ～6月12日	昨年発掘調査を実施した遺跡の速報展示及び震災復興支援の報告	埋蔵文化財センター	269名
企画展「唐物・南蛮物・洋物」	平成27年7月4日 ～平成27年8月16日	中国文化や南蛮文化、さらには西洋文化の息吹を感じる資料を厳選して展示	先哲史料館展示室	6,192名
特集展2「府内の地宝」	平成27年11月3日 ～11月23日	中世大友府内町跡の発掘調査で出土した遺物の展示 (今回初公開の遺物も含む)	埋蔵文化財センター	185名
県庁別館ミニ企画展「細見！大分の遺跡」	平成27年4月1日 ～平成28年3月31日	近年発掘調査した県内各遺跡の遺物をテーマごとに解説、展示	大分県庁別館1階ロビー	
大分大学ミニ企画展「細見！大分の遺跡」	平成27年4月1日 ～平成28年3月31日	近年発掘調査した県内各遺跡の遺物をテーマごとに解説、展示	大分大学図書館ロビー	
県立図書館ミニ企画展「細見！大分の遺跡」	平成27年4月1日 ～平成28年3月31日	中世大友府内町跡から出土の大友氏関係遺物を展示	大分県立図書館1階ロビー	



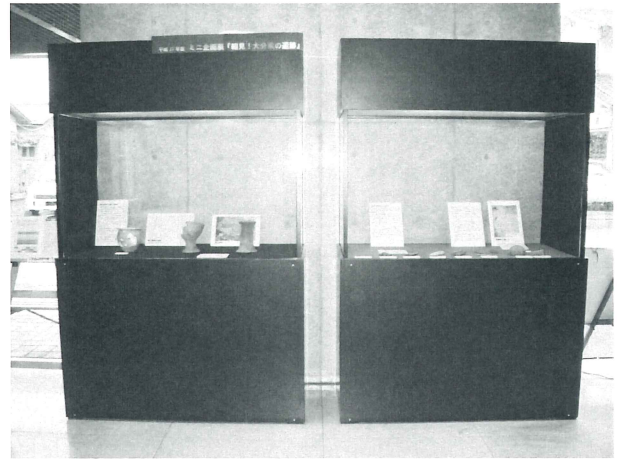
ミニ企画展「細見！大分の遺跡」
4月～5月 大分大学図書館



ミニ企画展「細見！大分の遺跡」
4月～5月 大分県庁別館ロビー



ミニ企画展「細見！大分の遺跡」
6月～7月 ロビー大分県立図書館



ミニ企画展「細見！大分の遺跡」
6月～7月 ロビー大分県立図書館



企画展「唐物・南蛮物・洋物」 7月～8月
会場 大分県立先哲史料館展示室



特集展1「平成27年度調査速報展」
会場 埋蔵文化財センター研修室

B 出前授業・講座

出前授業では4校で実施し、受講児童数は延べ216人であった。出前授業は、概ね二時限分の授業時間を使い、前半で旧石器時代や縄文時代・弥生時代の生活の違いやそれぞれの地域に残る遺跡について学び、後半で石器・縄文土器・弥生土器・須恵器に実際に触れる体験の他、黒曜石を使って紙を切る体験や縄文土器の模様を粘土板に再現する体験などいくつかの体験学習を学校ごとに設定している。

考古学講座は、旧石器時代から近世にまでの遺跡・遺物に関する講座を9回実施した。総入場者数は、併せて225名の来場者を数えた。また、平成27年度は小学生の親子を主な対象としたバックヤードツアーを初めて企画し、平成27年8月23日(土)と平成28年1月30日(土)の2回実施した。バックヤードツアーでは常設展示の見学、報告書作成作業の関わる作業室や遺物の収蔵棟見学に加えて、整理作業体験として遺物の接合作業クイズ大会などを行い、参加者からの好評を得た。

第5表 出前講座・講座一覧

出前授業

	学 校 名	実 施 日	利用学年・児童数			備 考
			学年	クラス	人数	
1	杵築市立護江小学校	平成27年4月30日	6年生	1クラス	15名	
2	大分市立春日町小学校	平成27年5月19日	6年生	3クラス	112名	
3	豊後高田市立呉崎小学校	平成27年5月12日	6年生	2クラス	5名	
4	大分市立戸次小学校	平成27年5月21日	6年生	3クラス	84名	

考古学講座・企画展関連講座・ボランティア講座

C 研修・その他

公庫資料を用いた児童・生徒向けの体験学習や教員研修を実施しており、時期によって発掘体験を研修項目に追加している。また、地域の学校である判田小学校とは、施設見学・遺物の洗浄体験や判田知己の史跡をめぐるウォークラリーの実施など、連携して歴史学習・地域学習を行っている。

名 称	期 間 ・ 期 日	目 的 ・ 内 容	担 当	開催場所	参加者
考古学講座	第1回 平成27年6月6日	遺跡・遺物は語る	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第2回 平成27年7月4日	大分の夜明け	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第3回 平成27年8月1日	海へ山へ進出する縄文人	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第4回 平成27年9月5日	稲作か畑作か 弥生人の選択	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第5回 平成27年10月3日	ヤマト政権の統一と巨大墳墓の出現	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第6回 平成27年11月7日	豊の国の誕生と律令制度の浸透	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第7回 平成27年12月5日	大友氏の登場、重層化する社会	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第8回 平成28年1月9日	豊後府内の繁栄と衰退	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
	第9回 平成28年2月6日	分割された大分 そして現代へ	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
中世石塔シンポジウム	平成27年12月19日	埋蔵文化財センターが行っている大分県の中世石造物調査の中間報告を兼ねた報告とシンポジウム	菊池大樹氏（東京大学） 藤澤典彦氏（大阪大谷大学）他	県立図書館視聴覚ホール	200名
企画展関連講座	平成27年7月25日	平成27年度企画展「唐物・南蛮物・洋物」関連	センター職員	県立図書館視聴覚室	30名
特集展関連講座	平成27年5月23日	特集展1 関連講座	センター職員	埋蔵文化財センター	30名
	平成27年11月3日	特集展2 関連講座	センター職員	埋蔵文化財センター	25名
発掘現地説明会	平成27年12月26日	旧万寿寺跡 10次調査発掘調査現地説明	センター職員	大分市元町	195名
ボランティア養成講座	第1回 平成27年8月22日	ボランティア活動について	金田信子氏（元国東市文化財課長） センター職員	埋蔵文化財センター	15名
	第2回 平成27年9月19日	考古学入門Ⅰ 考古資料の見方と取り扱い	センター職員	埋蔵文化財センター	15名
	第3回 平成27年10月17日	考古学入門Ⅱ 整理作業体験	センター職員	埋蔵文化財センター	15名
	第4回 平成27年11月21日	考古学入門Ⅲ 黒曜石石器作成	センター職員	埋蔵文化財センター	15名
	第5回 平成27年12月19日	接遇 勾玉製作	佐藤敬子氏（別府大学） センター職員	埋蔵文化財センター	15名
	第6回 平成28年1月16日	火起こし体験	センター職員	埋蔵文化財センター	15名
	第7回 平成28年2月20日	拓本実習 組紐製作	センター職員	埋蔵文化財センター	15名
	第8回 平成28年3月19日	縄文編籠製作	センター職員	埋蔵文化財センター	15名
夏休み親子歴史体験	平成27年8月9日	展示見学、バックヤードツアー	センター職員	埋蔵文化財センター	20名
バックヤードツアー	平成28年1月30日	展示見学、バックヤードツアー	センター職員	埋蔵文化財センター	30名

第6表 研修・見学一覧 研修

事 業 名	実施年月日	対 象 者	参加人員	備 考
初任者研修	平成26年11月12日	教育センター実施小学校・特別学級新採用教員研修	124名	テーマ 「地域教材の活用～大分県の歴史と文化」

職場体験

	学 校 名	受入期間	日数	内 容	受人数
1	大分市立城東中学校	平成27年6月16日～平成27年6月18日	3日	整理作業等の体験	2年生4名
2	大分市立城南中学校	平成27年6月30日～平成27年7月1日	2日	整理作業等の体験	2年生5名
3	大分県立大分豊府中学校	平成27年7月7日～平成27年7月9日	3日	整理作業等の体験	2年生4名
4	大分市立判田中学校	平成27年9月3日～平成27年9月4日	2日	整理作業等の体験	2年生4名
5	大分市立王子中学校	平成27年9月8日～平成27年9月10日	3日	整理作業等の体験	2年生3名
6	大分市立戸次中学校	平成27年9月8日～平成27年9月9日	2日	整理作業等の体験	2年生3名
7	大分市立滝尾中学校	平成27年9月9日～平成27年9月10日	2日	整理作業等の体験	2年生4名
8	大分市立大東中学校	平成27年9月15日～平成27年9月16日	2日	整理作業等の体験	2年生2名
9	大分市立穂田東中学校	平成27年9月17日～平成27年9月18日	2日	整理作業等の体験	2年生2名
10	大分支援学校	平成27年9月7日～9月18日		インターンシップ	高等部2年生1名
11	立命館アジア太平洋大学	平成27年12月7日～平成28年3月31日		インターンシップ	4年生1名

社会見学・修学旅行等

	学 校 名	実施日	内 容	受人数
1	佐伯市立蒲江湘南中学校	平成27年11月20日	施設見学・展示見学（修学旅行）	2年生54名
2	佐伯市立名護屋小・蒲江小	平成27年11月26日	施設見学・展示見学・歴史体験（社会見学）	6年生26名
3	佐伯市立楠本小他3校	平成27年11月30日	施設見学・展示見学・歴史体験（社会見学）	6年生25名

さまざまな学校との連携

	対 象 者	受入期間	内 容	受人数
1	大分市立判田小学校	平成27年5月26日～平成27年5月27日	歴史体験学習（施設体験・見学）	6年生149名
2	大分市立判田小学校	平成27年10月9日	判田ウォークラリー（判田地区の史跡見学）	6年生149名

D 歴史学習体験キット

社会科の授業における補助教材として、旧石器時代から近世まで各時代ごとの石器や土器・陶磁器を一つの箱にまとめ、貸し出しを行っている。平成27年度は、小学校・中学校・大学への貸し出しが5件あった。

第7表 歴史体験学習キット貸出一覧

小学校

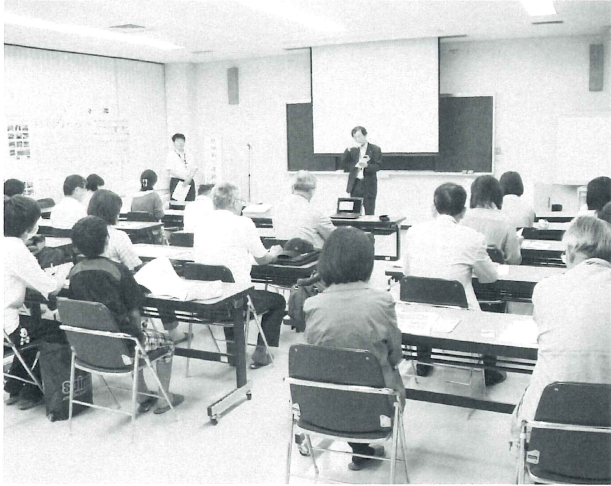
	学 校 名	使用日時	利用学年・児童数			備 考
1	大分市立横瀬西小学校	平成27年4月9日	6年生	1クラス	15名	

中学校

	学 校 名	使用日時	利用学年・生徒数			備 考
2	大分市立明野中学校	平成27年8月24日～平成27年9月25日	1年生	4クラス	423名	
3	臼杵市立北中学校	平成27年6月23日～平成26年6月26日	2年生	2クラス	80名	
4	大分市立大在中学校	平成27年6月1日～平成27年10月20日	1年生	10クラス	270名	

大学・高専学校等

	学 校 名	使用日時	利用学年・生徒数			備 考
5	大分大学	平成27年4月24日			180名	



特集展1 関連講座



第2回 考古学講座



第5回考古学講座



佐伯市立蒲江湘南中学校 修学旅行帰途の見学



佐伯市立蒲江小学校・同名護屋小学校
社会見学(施設利用)



大分市立判田小学校ウォークラリー

E 収蔵資料の貸出

昨年度の25件を超える29件の貸し出し・写真等の提供を行った。理由としては、前年度にNHK大河ドラマの題材として大分県中津市に本拠地を置いた黒田勘兵衛や戦国時代が取り上げられたことにより、関連事業などが多く企画されたことが挙げられる。また、中世大友府内町跡出土遺物については、近年、県内市町村が大友氏時代の南蛮文化の発信に力を入れていることなどから昨年度に引き続き貸し出し希望が多く、今年度は特にメディアからの資料提供依頼が多くあった。

第8表 収蔵資料の貸し出し一覧

	貸出先等	貸出目的	主な貸出物件等	期日・期間等
1	国東市歴史体験学習館	企画展への遺物及び写真貸出	八坂中遺跡他出土遺物	平成27年4月10日～9月30日
2	首都大学東京	写真提供	龍頭遺跡編組製品	平成27年4月30日
3	九州国立博物館	10周年記念特別展への写真提供	中世大友府内町跡と別府湾の写真	平成27年4月21日
4	日本畜産振興会	月刊誌写真掲載	下郡桑苗遺跡ブタ頭骨	平成27年5月1日
5	東北大学	龍頭編籠の分析調査	龍頭遺跡編組製品	平成27年5月12日
6	大分県立歴史博物館	学会発表資料提供	旧万寿寺跡出土一括銭に関する情報提供	平成27年7月11日
7	吉川弘文館	出版物への写真掲載	中世大友府内町跡出土遺物写真	平成27年5月19日
8	臼杵市立北中学校教諭	授業補助のための資料貸出	縄文石器 石器	平成27年6月23日～6月26日
9	新泉社	写真提供	下郡桑苗遺跡ブタ頭骨	平成27年7月3日
10	先哲史料館	夏季企画展への遺物貸出	中世大友府内町跡 メダイ他	平成27年7月4日～8月16日
11	大分のキリシタン・南蛮文化遺産活用発信プロジェクトin大分市実行委員会	写真提供	中世大友府内町跡出土ベネチアングラス	平成27年7月9日
12	先哲史料館	写真提供	旧万寿寺跡出土鬼瓦他	平成27年7月14日
13	歴史博物館	常設展への出品	中世大友府内町跡出土土器	平成27年7月8日～
14	京都市考古資料館	特別展示への出品	中世大友府内町跡出土遺物	平成27年7月7日～12月18日
15	杵築城下町資料館	特別展への出品	安岐城出土遺物ほか	平成27年8月4日～9月23日
16	根津美術館	出版物への写真掲載	中世大友府内町跡出土遺物	平成27年10月7日
17	県立美術館	展示会への出品	上ノ原横穴墓群装飾品 東田室遺跡絵画土器	平成27年10月31日～1月24日
18	歴史博物館	特別展への出品	中世大友府内町跡 キリシタン関係 南蛮貿易関係遺物	平成27年10月16日～11月23日
19	大分市観光課	パンフへの写真掲載	中世大友府内町跡出土ガラス製品	平成27年10月24日
20	大分市歴史資料館	特別展示への出品	中世大友府内町跡犬形土製品 犬の頭骨 下郡桑苗遺跡イヌ頭骨	平成27年10月23日～11月23日
21	歴史博物館	特集展示への出品	研修棟展示遺物	平成27年10月27日～平成28年1月31日
22	東北大学植物園	資料調査成果の公開	龍頭遺跡編組製品調査成果	平成27年11月21日
23	大分のキリシタン・南蛮文化遺産活用発信プロジェクトin大分市実行委員会	写真提供	キリシタン関係遺物	平成27年10月24日
24	菊屋	写真提供	中世大友府内町跡キリシタン関係遺物	平成27年11月24日
25	大分合同新聞社	写真提供	ペロニカメダイ写真	平成27年12月15日
26	杵築市教委	写真提供	龍頭遺跡網組製品	平成28年3月7日
27	吉田生物研究所	写真提供	旧万寿寺跡出土一括銭保存修理工程写真	平成28年3月16日
28	大分市歴史資料館	常設展における資料貸出	横尾貝塚自然遺物他	平成28年4月1日～平成29年3月31日
29	歴史博物館	常設展への出品	上ノ原横穴墓群出土土器他	平成28年4月1日～平成29年3月31日

F 資料調査

収蔵する埋蔵文化財の資料公開の一環として資料調査を受け入れており、本年度は9件あった。

第9表 資料調査受け入れ一覧

	閲覧者等	閲覧等目的	主な閲覧物件等	閲覧期日	人数	備考
1	九州大学大学院生	資料調査	瀬戸古墳出土銅鏡	平成27年6月22日	1名	
2	愛媛県埋蔵文化財センター	資料調査	横尾貝塚出土土器	平成27年7月30日	2名	
3	個人(長野県)	資料調査	駒方C遺跡・津留遺跡 旧石器	平成27年7月24日	1名	
4	九州大学大学院生	資料調査	玉沢地区条里跡遺跡群出土縄文土器	平成27年8月27日	1名	
5	大分市歴史資料館	資料調査	特別展開催のための資料調査	平成27年9月4日	1名	
6	大分市文化財課職員	資料調査	北ノ後遺跡・加原遺跡・竜王畑遺跡出土土器	平成27年9月17日	1名	
7	福岡大学	資料調査	中世大友府内町跡出土遺物	平成27年12月2日	2名	
8	広島大学学生	資料調査	横尾貝塚出土土器	平成27年12月4日	1名	
9	堺市文化財課	資料調査	中世大友府内町跡出土遺物	平成28年1月8日	1名	

G 講師派遣

様々な事務所・団体からの依頼に伴い、講座などの講師として当センター職員を派遣している。平成27年度は、県外を含む9件の派遣を行った。

第10表 講師派遣一覧

	内 容	期 日	開 催 場 所 等	人 数	備 考
1	福寿学級 四日市遺跡について	平成27年5月13日	玖珠自治会館	53名	
2	歴史学級 埋蔵文化財の保存と活用	平成27年5月20日	西部公民館	30名	
3	夏休み親子歴史教室	平成27年8月9日	埋蔵文化財センター	50名	
4	四日市遺跡の調査について	平成27年7月13日	玖珠町中央公民館	20名	
5	高年大学	平成27年9月17日	敷戸公民館	50名	
6	寿大学	平成27年9月17日	玖珠町中央公民館	15名	
7	シルバー人材センター遺跡発掘講習会 佐伯会場	平成27年10月22日～26日	佐伯市保健福祉センター 和楽	20名	
8	シルバー人材センター遺跡発掘講習会 大分会場	平成28年1月27日～2月1日	埋蔵文化財センター	15名	
9	バックヤードツアー	平成28年1月30日	埋蔵文化財センター	30名	

第2章 平成27年度の大分県埋蔵文化財保護行政の現状

(1) 発掘調査の動向

大分県内で平成27年度に届出のあった件数は884件である。このうち、文化財保護法(以下、法という)第92条(学術研究)による届出は3件、法93条の届出(民間開発)は727件、法94条の通知は105件であった。平成26年度の届出等件数と比較すると、法93条は727件から14件の増、法94条の通知は105件から37件の増である。民間開発は、ここ数年増加傾向から横ばいである。公共事業は、耐震化等による公共施設等の建替え等によるものと考えられる。

上記の届出等に対し、発掘調査を通知した件数は101件、工事立会いは196件、慎重工事は558件、その他28件である。開発事業に伴う法99条に基づく発掘調査の通知は50件で、平成26年度の40件から2件の減である。また、重要遺跡の範囲確認等の保存目的調査が6件、整備目的調査が2件である。また、当センターでは、中世石造遺物の分布調査を実施しており、その成果として報告書『大分県中世石造遺物第4集 写真図版編』を刊行した。

(2) 埋蔵文化財の普及・啓発及び文化財指定

埋蔵文化財の普及・啓発事業として、発掘調査青花を一般に公開する現地説明会や、博物館等での展示会やシンポジウム等が開催されている。大分県教育庁埋蔵文化財センターでは、大分県立先哲史料館展示室において企画展平成27年度企画展『唐物・南蛮物・洋物～海外ブランドへの憧れ～』を開催したほか、特集展1「平成26年度調査の速報展(会場:当センター)」、特集展2「府内の地宝(会場:当センター)」、ミニ企画展「細見!大分の遺跡(会場:大分大学・県庁別館・県立図書館)」を行った。

埋蔵文化財や石造文化財等の文化財指定としては、平成28年2月23日付で県の史跡として、六郷山夷岩屋の寺社境内、杵築城跡(藩主御殿跡)及び永山城跡が指定され、実相寺古墳群(平成25年3月15日指定)の一部が追加指定された。また、同日に県の有形文化財(考古資料)に、猪野遺跡出土銅矛、佐知遺跡17号遺構出土品、龍頭遺跡出土網袋が指定された。

第11表 文化財保護法93条・94条届出等の市町村別内訳

市町村名	合計	小計	法93条					法94条			
			発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	小計	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他
大分市	375	350	11	65	273	1	25	2	13	10	0
別府市	18	18	6	1	10	1	0	0	0	0	0
中津市	221	183	24	1	142	16	38	12	9	16	1
日田市	67	48	13	0	35	0	19	3	8	7	1
佐伯市	6	5	0	3	1	1	1	0	1	0	0
臼杵市	20	18	0	17	1	0	2	0	2	0	0
津久見市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竹田市	16	9	8	1	0	0	7	2	5	0	0
豊後高田市	18	13	1	3	9	0	5	2	2	1	1
杵築市	25	15	4	8	1	2	10	0	9	0	1
宇佐市	73	55	3	12	38	2	18	3	12	2	0
豊後大野市	25	13	2	3	8	0	12	2	8	2	0
由布市	7	7	0	5	2	0	0	0	0	0	0
国東市	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0
姫島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日出町	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
九重町	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
玖珠町	6	2	1	1	0	0	4	0	3	0	1
合計	883	741	74	124	520	23	142	27	72	38	5

第3章 所蔵資料報告・研究報告

朱漆鎗金楼閣騎馬人物文唐枕 修復報告

大西智洋 (大西漆芸修復スタジオ)

朱漆鎗金楼閣騎馬人物文唐枕の保存修復処置は、平成27年9月1日より平成27年10月29日まで九州国立博物館内文化財保存修復施設6(漆工室)において行われた。以下はその修復内容を記録したものである。

1. 概要

大分県教育庁埋蔵文化財センターが平成19年度に発掘調査を行った中世大友府内町跡第80次調査(大分市錦町3丁目)から、「朱漆鎗金楼閣騎馬人物文唐枕」(以下、「唐枕」と略称)と呼ばれる枕が出土した。唐枕は今から約450年前の中国明時代に作られたもので、南蛮貿易によって大友宗麟の時代の豊後府内(現在の大分市)に輸入されてものと思われる。

唐枕は木材と漆を使って作られており、その側面に「鎗金」の装飾技法で文様が描かれている。木材と漆で作られた唐枕は我が国初の出土例となり、しかも鎗金の装飾文様をもつ大変貴重な資料である。



出土時写真(大分県教育庁埋蔵文化財センター提供写真)

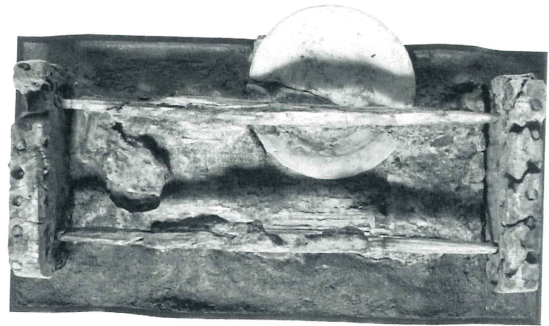
なお、平成21年3月に株式会社京都科学で保存処置が完了し返却されている。その際の保存処置として、含浸処理使用薬剤をラクチトールとトレハロースの混合溶液(混合比=10:1)、漆膜の固着のため部分的にポリエーテルエステル樹脂(パオゲンPP-15:第一工業製薬株式会社)を使用している。地面の土は付いた状態で固められ、黒色の枠が付けられている。また、材質同定が行われており、塗膜は赤外分光分析によって漆と同定されている。樹種は側板がクスノキ、芯材がコナラ属アカガシ亜属、木釘はスギ、編み物は草本類茎であると同定されている。

木製漆塗(長さ 36.2cm × 幅 15.4cm × 高さ 12.0cm)

平成21年時の保存処理後写真（大分県教育庁埋蔵文化財センター提供写真）



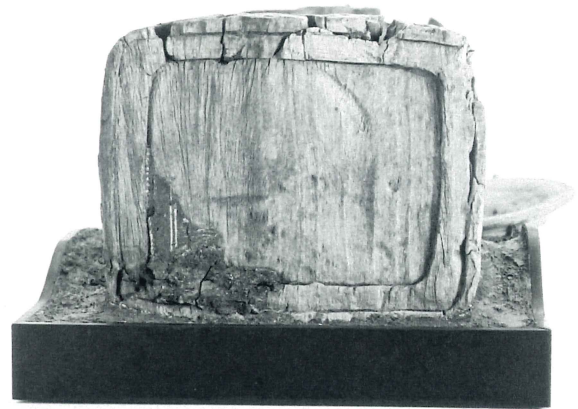
全体1



全体2



側面1



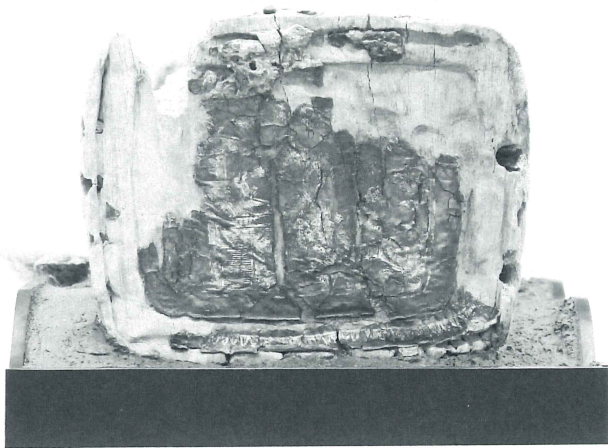
側面2

2. 現 状

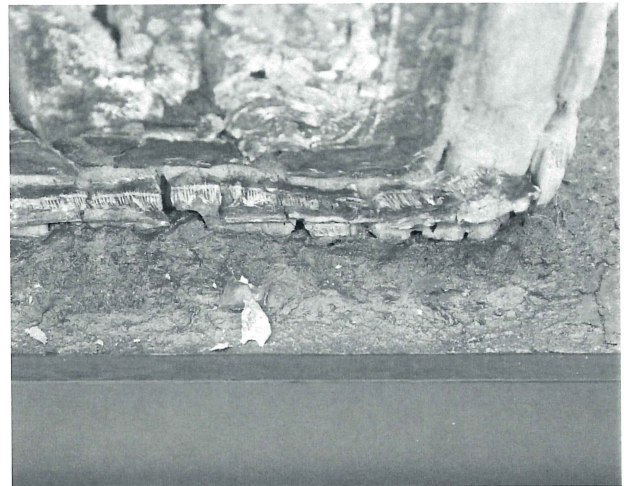
側面の漆塗膜に剥離が生じ、塗膜三片の剥落が見られる（一片は糸くずに引っ掛かり下には落ちていない）。剥離塗膜は大きく反りが生じている。塗膜上に白色したものが付着しており、漆塗膜の質感を損ねている。

X線CTで調査を行い、過去の保存処置による木質強化の状態を確認することができた。（計測、写真提供は九州国立博物館 学芸部 博物館科学課 赤田昌倫氏）

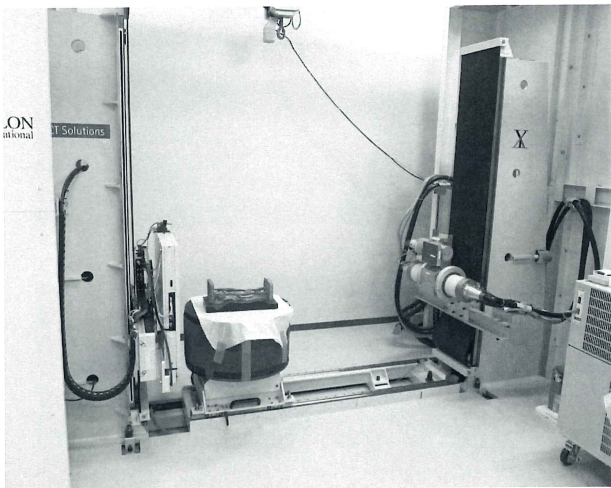
埋蔵文化財の保存処理、保存科学、画像処理の専門家の方に、X線CT調査結果と現物を確認しながら九州国立博物館内で検討会を実施した。



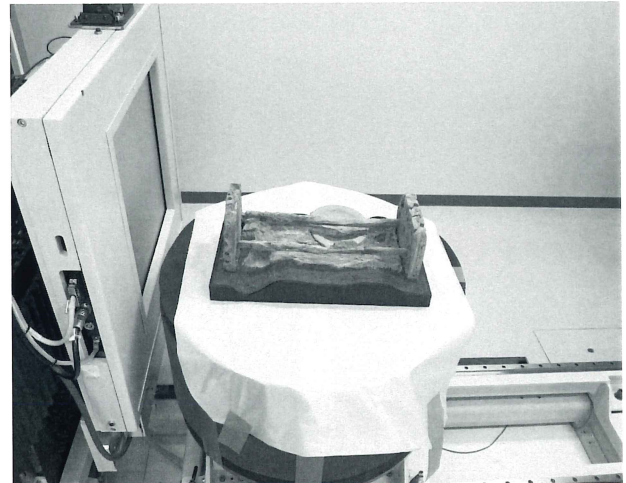
剥離状態



剥落した塗膜片

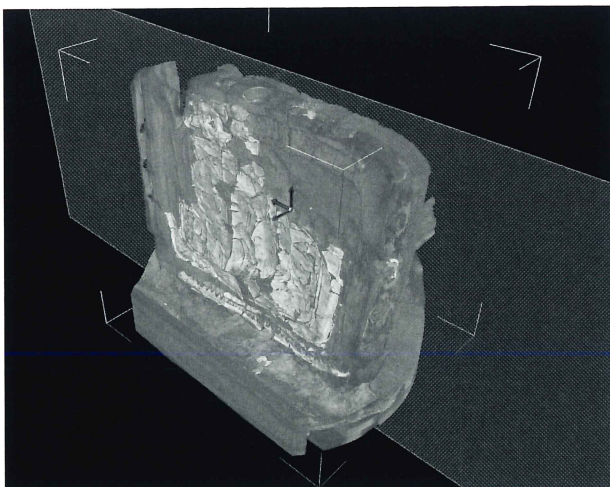


X線CT機器

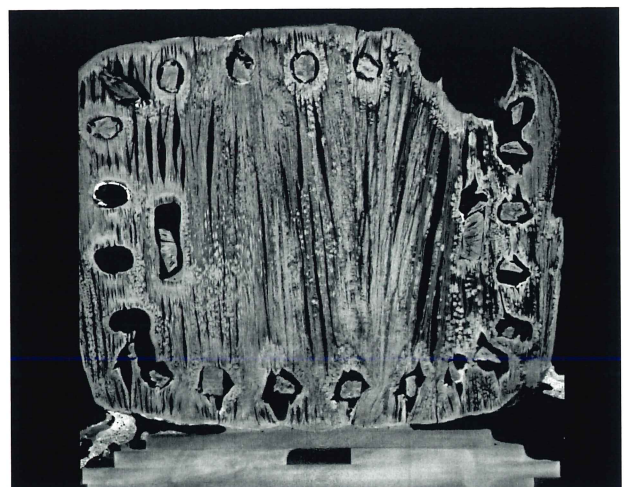


設置状態

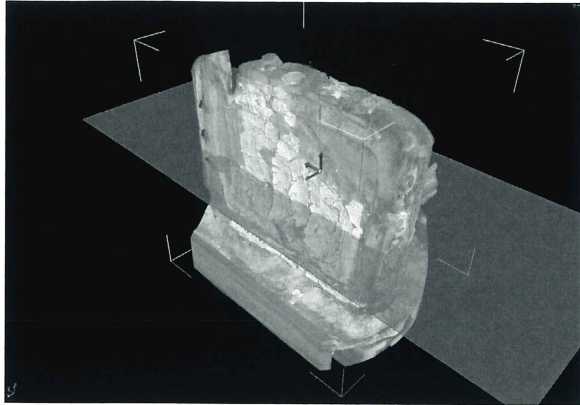
X線CT画像



①カット部分



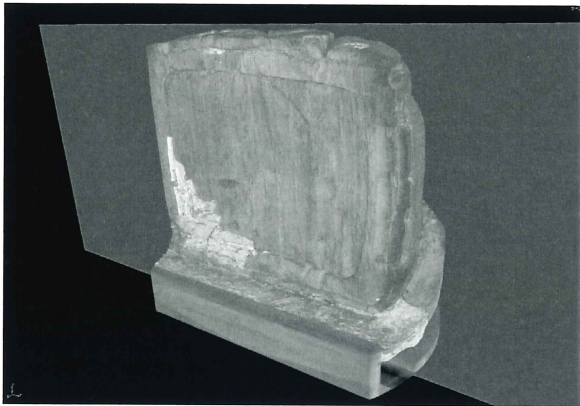
②カット部分画像



③カット部分



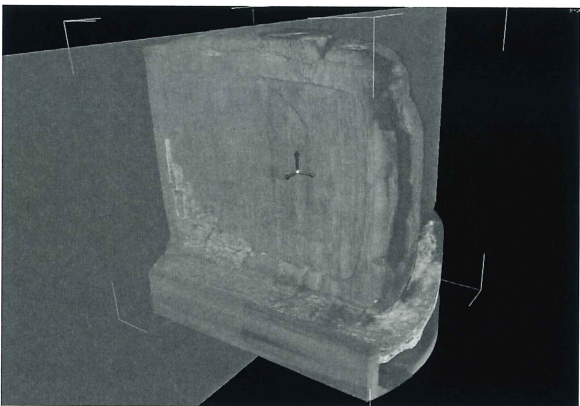
④カット部分画像



⑤カット部分



⑥カット部分画像



⑦カット部分



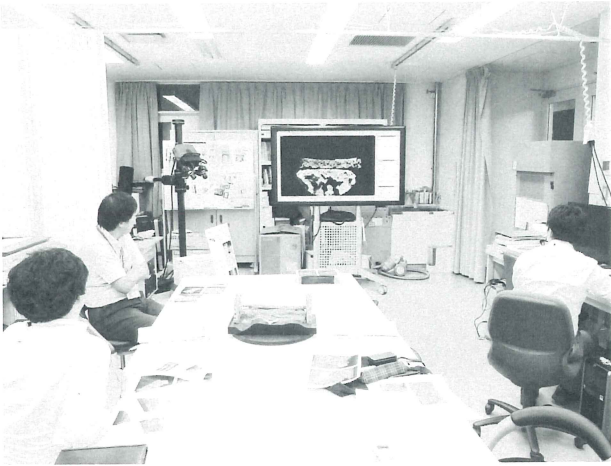
⑧カット部分画像

今回参加されたCT研究会のメンバー

- ・九州国立博物館 今津 節生氏、赤田 昌倫氏、金 旻貞氏、田中 麻美氏
- ・九州歴史資料館 加藤 和歳氏 小林 啓氏
- ・2bit 輪田 慧氏

専門家の意見から、平成21年時の保存処置では、含浸処理使用薬剤が十分に含浸されていなかったようである（CT画像⑥、⑧参照）。原因はいくつか考えられ、

- ・側板がクスノキであり、含浸には時間がかかる樹種である。
- ・ラクチールとトレハロースの混合溶液（混合比＝10：1）で行われているが、現在ではより含浸



観察の様子



検討会

をさせやすい溶液が使用されており、保存処理当時はちょうど溶液が変更されてくる端境期であったようである。

3. 修復方針

現在、我が国で行われている指定文化財漆工芸品の保存修復に則り、現状保存修復を原則として行う事とする。修復に際しては十分に事前調査を行い、傷みの現状を確認した上で修復工程を決定する。また、写真撮影を伴った修復の記録を取り、修復後と比較できるようにし、修復終了後報告書を作成し提出する。

修復中に方針を変更する際には、所有者と協議を行い決定する。

4. 修復

塗膜剥落の危険がある箇所には、短冊状に切った雁皮紙を弱い糊で貼り養生を行った。

剥離した漆塗膜に対し、膠で接着を行った。接着の際は膠を薄いシート状に調整したものと10%濃度の膠水を併用して適直接着安定作業を行った。漆塗膜には反りが生じていたため、木地に塗膜を密着させることを優先し作業を行う必要があり、極力塗膜が割れないように接着作業を行った。

塗膜の接着安定後、塗膜上に及ぶ汚れを可能な限り除去を行い仕上げた。

5. 修復工程

①修理前写真撮影・記録 ②塗膜、接着安定処置 ③クリーニング ④修復後写真撮影 ⑤報告書作成

6. 所見

唐枕の塗膜剥離の原因として、木地の収縮、過去の保存処理精度、保管環境が考えられる。

今回修復処置を行い、膠接着で剥離箇所をとどめることはできたが、保管環境によっては再剥離が生じる可能性も考えられる。そのため定期的に唐枕を観察し、剥離が生じてきた場合にはそのつど接着安定作業を行う必要がある。

修復作業写真



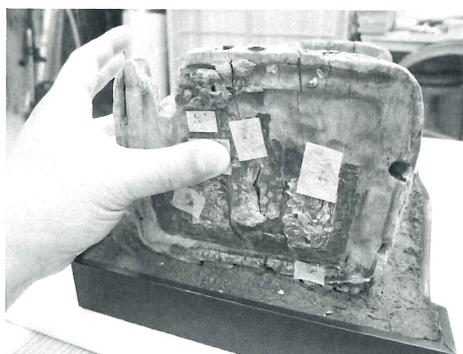
剥離箇所を膠水含浸



膠のシート



膠のシートを入れた個所に膠水含浸



指で押さえて圧着



膠水を含浸



ナイロン紙で余分な膠を吸い寄せる



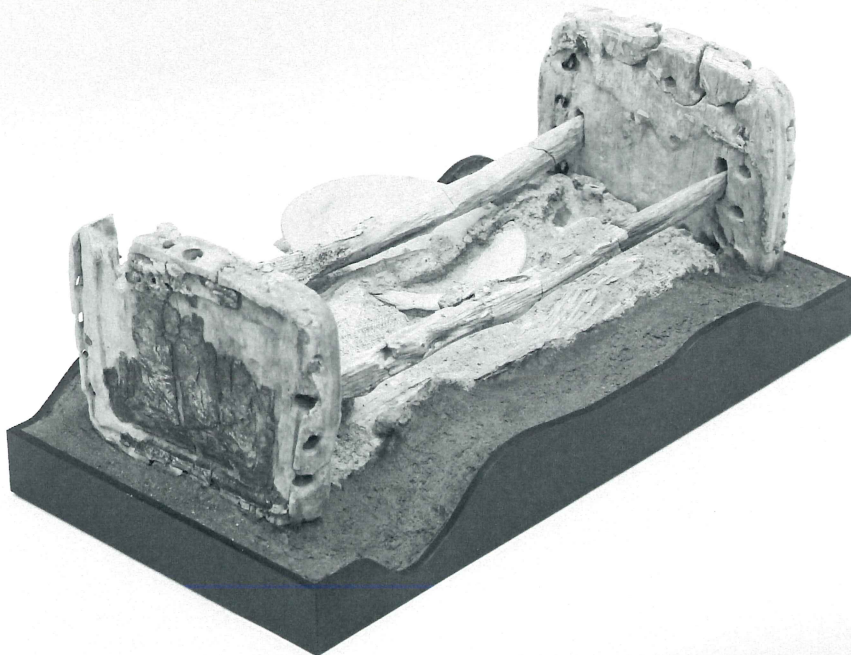
剥落箇所が判明した塗膜片



クリーニング



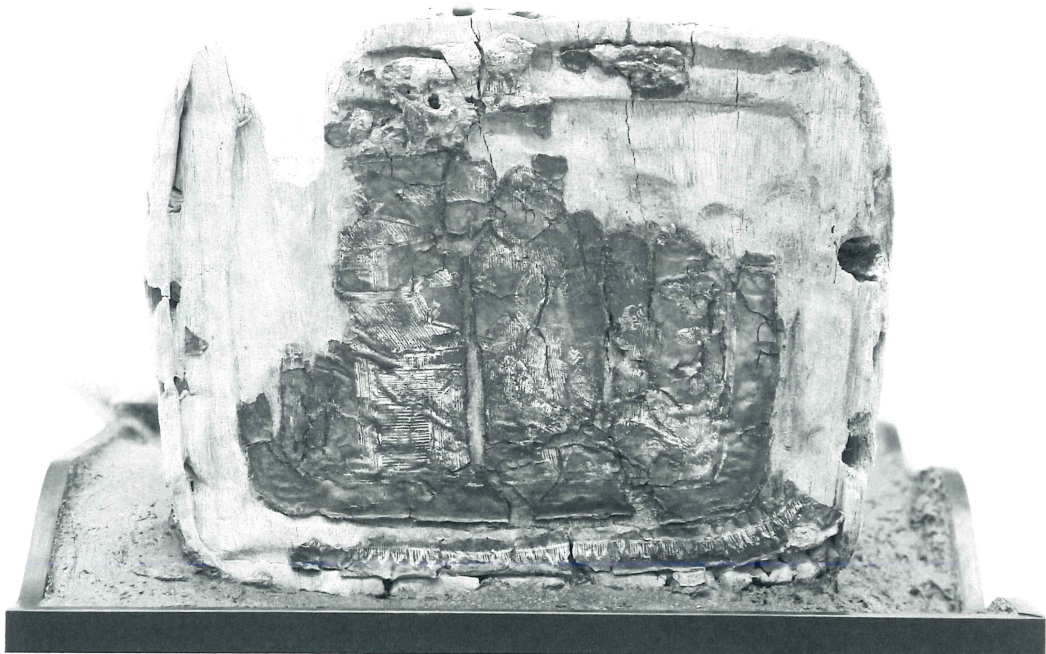
修復前



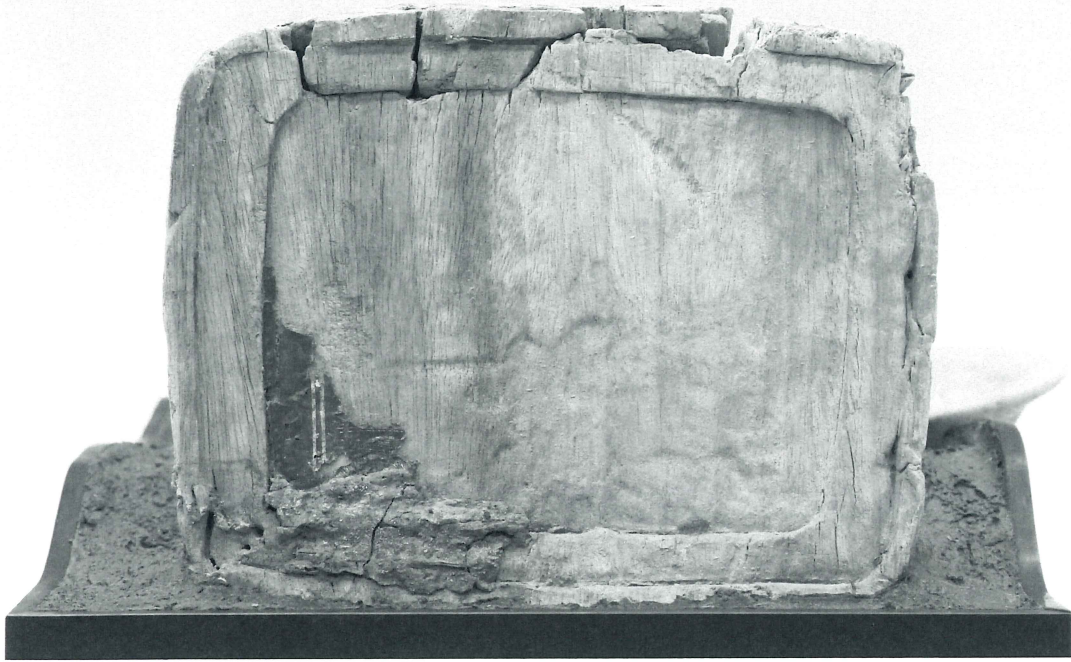
修復後



修復前



修復後



修復前



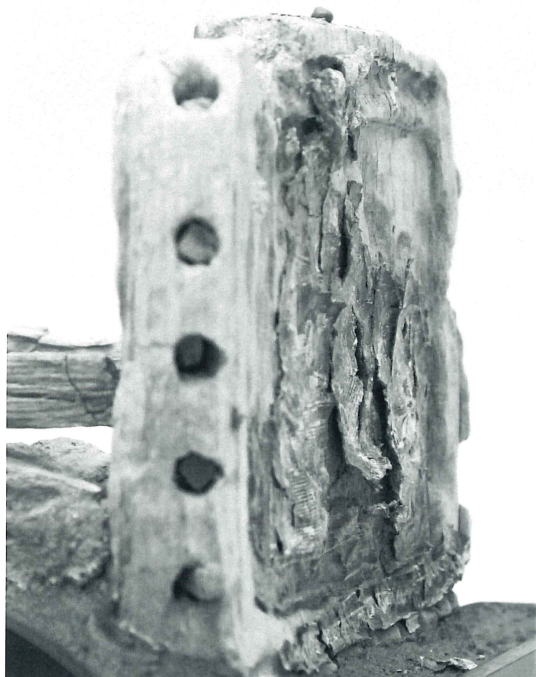
修復後



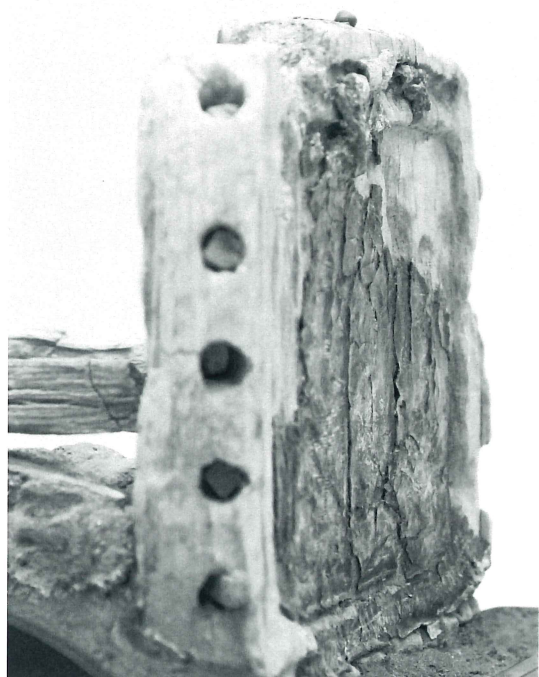
修復前



修復後



修復前



修復後

大分県教育庁埋蔵文化財センター年報 3

平成29年(2017)3月31日 発行

編集・発行者

大分県教育庁 埋蔵文化財センター
〒870-0152 大分市牧緑町1-61
TEL 097-552-0077 (代)

印刷 株式会社ビイング

〒870-0028 大分市新町10-18 Mビル2F
TEL 097-538-4123